

得点	演習問題	実施日	月 日	氏名

【1】 次の文を読み、下の各問いに答えなさい。

18 世紀の中ごろから封建社会の動揺がはっきり現れてきた。貨幣経済が発達し、手工業の面でも ① 家内工業が広がり、さらに工場で分業・協業によって生産する ② も現れて、商品生産はいちだんとすすんだ。

産業の発達で大商人らの経済力は高まったが、農村では ③ 百姓がふえ、幕府・諸藩の財政は苦しくなった。そのため A 幕府はしばしば政治改革を行った。一方 B 外国船が日本近海に現れ始め、日本の社会は内外からゆさぶられるようになった。幕府は 1825 年に ④ 令を出して外国船に対し強硬な態度をとったが、C やがて日本人の中からもこうした政策を批判する動きも現れた。

年代	ことがら
1716～45	享保の改革……D
1772～86	田沼の政治……E
1783～	⑤ の大ききん
1787～93	寛政の改革……F
1837	⑥ の乱(大阪)
1841～43	天保の改革……G

(1) 上の文と年表の 〇 にあてはまることばや人名を答えなさい。

- ① () ② ()
 ③ () ④ ()
 ⑤ () ⑥ ()

(2) 下線部 A について、次のことがらは年表のどの改革政治で行われたものですか。それぞれ記号で答えなさい。

- ① 幕府の学校で朱子学以外の学問を禁ずる。 ()
 ② 株仲間の結成を奨励する。 ()
 ③ 株仲間を解散させる。 ()
 ④ 旗本らの借金を帳消しにした。 ()

(3) 下線部 B について、年表の F の時期に根室に来航して通商を申し入れたのはどこの国の船ですか。 ()

(4) 下線部 C について、年表の G の時期の少し前に幕府の鎖国政策を批判して罰せられた人物を 2 人選び、記号で答えなさい。 () ()

- ア 高野長英 イ 林子平 ウ 伊能忠敬
 エ 渡辺崋山 オ 間宮林蔵

【2】 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の A・B は、それぞれある人物についての説明である。あとの問いに答えなさい。

- A 日本の古典研究に力をそそぎ、一生の大半をついやして、すぐれた古典の注釈書である「古事記伝」を著した。
 B ヨーロッパの医学書を苦心して翻訳し、「解体新書」を完成させて医学の進歩につくした。この翻訳の苦勞を「蘭学事始」に書き残している。

① それぞれの人物名を答えなさい。
 A () B ()

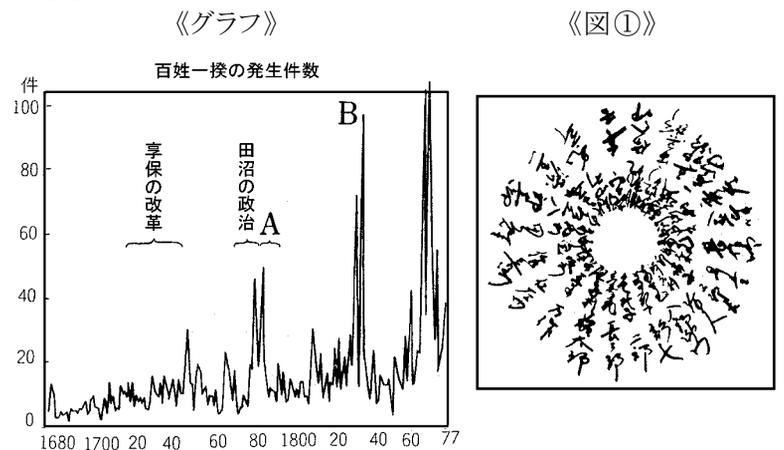
② A・B の人物が研究した学問は、それぞれ何という学問ですか。
 A () B ()

(2) 化政文化について述べた次の文で、下線を引いた部分のうち誤っているものを 2 つ選び、その番号と、訂正した正しい語句を答えなさい。

- 番号 () 語句 ()
 番号 () 語句 ()

化政文化は①上方を中心に発達した②町人文化で、皮肉やしゃれを歌った③連歌や川柳が喜ばれ、④浮世絵や⑤歌舞伎も全盛時代をむかえた。

【3】 下の百姓一揆の件数のグラフと図を見て、下の各問いに答えなさい。



(1) 《グラフ》中の A・B のところで急に百姓一揆の件数がふえているのはなぜですか。A・B に共通した点をあげなさい。 ()

(2) A・B の百姓一揆が高まった後に実施された改革をそれぞれ何といいますか。A () B ()

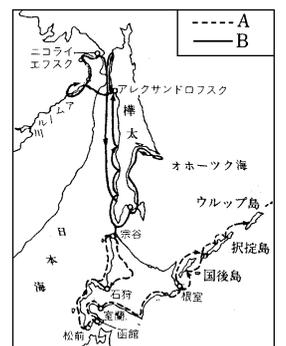
(3) 《図①》の署名は百姓一揆をおこした人々の連判状である。なぜ円形にしてあるのですか。 ()

(4) 百姓一揆の多いときは、都市でも貧しい人々による暴動がおきている。この暴動を何といいますか。 ()

【4】 右の地図を見て、次の各問いに答えなさい。

(1) A・B は 18 世紀末～19 世紀初めにおけるある人物の探検路を示している。A・B はそれぞれだれですか。次のア～オから 1 人ずつ選び、記号で答えなさい。 A () B ()

- ア 伊能忠敬 イ 間宮林蔵
 ウ 林子平 エ 平賀源内
 オ 近藤重蔵



(2) このころ北海道は何とよばれていましたか。 ()

(3) 外国船がさかんに接近し始めたため、幕府は 1825 年何という命令を出しましたか。 ()

(4) 1842 年に幕府は(3)の政策を変えたが、その理由として、海外のどんな事件を知らされたことによりますか。 ()

得点	演習問題〔解答〕	実施日	月 日	氏名

【1】 次の文を読み、下の各問いに答えなさい。

18世紀の中ごろから封建社会の動揺がはっきり現れてきた。貨幣経済が発達し、手工業の面でも①家内工業が広がり、さらに工場で分業・協業によって生産する②も現れて、商品生産はいちだんとすすんだ。

産業の発達で大商人らの経済力は高まったが、農村では③百姓がふえ、幕府・諸藩の財政は苦しくなった。そのためA幕府はしばしば政治改革を行った。一方B外国船が日本近海に現れ始め、日本の社会は内外からゆさぶられるようになった。幕府は1825年に④令を出して外国船に対し強硬な態度をとったが、Cやがて日本人の中からもこうした政策を批判する動きも現れた。

年代	ことがら
1716～45	享保の改革……D
1772～86	田沼の政治……E
1783～	⑤の大ききん
1787～93	寛政の改革……F
1837	⑥の乱(大阪)
1841～43	天保の改革……G

(1) 上の文と年表の□にあてはまることばや人名を答えなさい。

- ①(問屋制) ②(工場制手工業)
 ③(水呑) ④(異国船打払)
 ⑤(天明) ⑥(大塩平八郎)

(2) 下線部Aについて、次のことがらは年表のどの改革政治で行われたものですか。それぞれ記号で答えなさい。

- ① 幕府の学校で朱子学以外の学問を禁ずる。 (F)
 ② 株仲間の結成を奨励する。 (E)
 ③ 株仲間を解散させる。 (G)
 ④ 旗本らの借金を帳消しにした。 (F)

(3) 下線部Bについて、年表のFの時期に根室に來航して通商を申し入れたのはどこの国の船ですか。

(ロシア)

(4) 下線部Cについて、年表のGの時期の少し前に幕府の鎖国政策を批判して罰せられた人物を2人選び、記号で答えなさい。

(ア) (エ)
 ア 高野長英 イ 林子平 ウ 伊能忠敬
 エ 渡辺崋山 オ 間宮林蔵

【2】 次の各問いに答えなさい。

(1) 次のA・Bは、それぞれある人物についての説明である。あとの問いに答えなさい。

- A 日本の古典研究に力をそそぎ、一生の大半をついやして、すぐれた古典の注釈書である「古事記伝」を著した。
 B ヨーロッパの医学書を苦心して翻訳し、「解体新書」を完成させて医学の進歩につくした。この翻訳の苦勞を「蘭学事始」に書き残している。

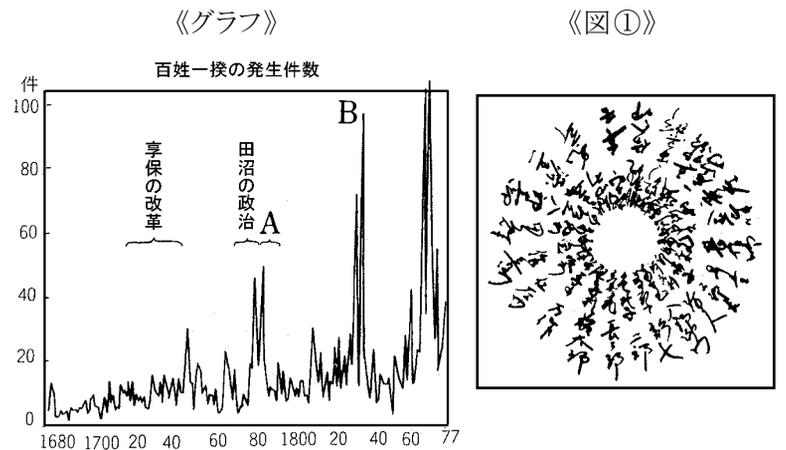
- ① それぞれの人物名を答えなさい。
 A(本居宣長) B(杉田玄白)

② A・Bの人物が研究した学問は、それぞれ何という学問ですか。
 A(国学) B(蘭学)

(2) 化政文化について述べた次の文で、下線を引いた部分のうち誤っているものを2つ選び、その番号と、訂正した正しい語句を答えなさい。 番号(①) 語句(江戸)
 番号(③) 語句(狂歌)

化政文化は①上方を中心に発達した②町人文化で、皮肉やしゃれを歌った③連歌や川柳が喜ばれ、④浮世絵や⑤歌舞伎も全盛時代をむかえた。

【3】 下の百姓一揆の件数のグラフと図を見て、下の各問いに答えなさい。



(1) 《グラフ》中のA・Bのところで急に百姓一揆の件数がふえているのはなぜですか。A・Bに共通した点をあげなさい。

(ききんが起きたから)

(2) A・Bの百姓一揆が高まった後に実施された改革をそれぞれ何といいますか。A(寛政の改革) B(天保の改革)

(3) 《図①》の署名は百姓一揆をおこした人々の連判状である。なぜ円形にしてあるのですか。

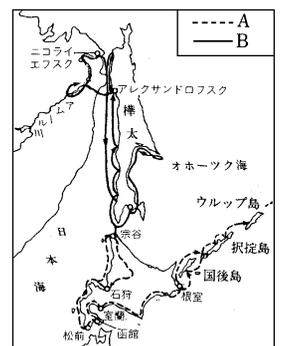
(だれが中心人物かがわからないようにするため)

(4) 百姓一揆の多いときは、都市でも貧しい人々による暴動がおきている。この暴動を何といいますか。(打ちこわし)

【4】 右の地図を見て、次の各問いに答えなさい。

(1) A・Bは18世紀末～19世紀初めにおけるある人物の探検路を示している。A・Bはそれぞれだれですか。次のア～オから1人ずつ選び、記号で答えなさい。 A(オ) B(イ)

- ア 伊能忠敬 イ 間宮林蔵
 ウ 林子平 エ 平賀源内
 オ 近藤重蔵



(2) このころ北海道は何とよばれていましたか。(蝦夷)

(3) 外国船がさかんに接近し始めたため、幕府は1825年何という命令を出しましたか。(異国船打払令)

(4) 1842年に幕府は(3)の政策を変えたが、その理由として、海外のどんな事件を知らされたことによりますか。

(アヘン戦争)